

議会に提案される補正予算

12月5日から、市議会が開会します。今議会には、災害復旧に向けた予算のほか、小学校へ

のエアコン設置費用などが提案される予定です。主な補正予算の内容は、以下の通りです。

小学校（46校分）へのエアコン設置費用が提案

中学校のエアコン設置予算に続き、小学校46校分の設置予算が提案されます。設置工事は、中学校が来年春休みもしくは5月の連休までに、小学校は来年夏休みを目途に行われる予定です。



応急仮設住宅のすべての入居者へ物置が設置



仮設住宅への倉庫設置予算が提案されます。共産党が行った聞き取り調査などでも、倉庫設置の要望が多く寄せられ、議会でも取り上げてきました。仮設住宅のすべての入居世帯に、倉庫（幅80センチ、高さ184センチ、奥行き75センチ）が設置される予定です。

認可外保育所利用者（半壊以上）の保育料軽減

認可保育所の利用者と同様に、今回、認可外保育所利用者にも、保育料の軽減（半壊…半額、全壊…全額）のための予算が提案されます。認可に申し込んだけれども、入れず認可外に通われている方が対象です。



冬に向け、「熊本地震」への支援強化を申入れ

発災から7カ月、冬を迎えました。すべての被災者が、安心して暖かく冬を過ごし、住まい・生活・生業の再建が着実にすすむよう、11月28日、日本共産党熊本地区委員会と党市議団で市へ申し入れを行いました。

市議団の市民アンケートには、「地震を機に、生活が変わってしまった。夜も安心して眠れない」「水も食料も電気もない避難生活を10日以上続けたのに、家は一部損壊なので何の支援も受けられない」「まさかの地震に、年金収入は少なく、家の修理は半部しかできず無念」など、切実な声が寄せられています。

これらの声にしっかり応え、住民の目線で復興に取り組んでいかなければなりません。

【要望事項】

- 1、冬を迎える被災者への支援
 - ・仮設・みなし仮設の暖房対策／みなし仮設への物置等の提供／仮設・みなし仮設の見守り・援助
- 2、「一部損壊」世帯への支援
- 3、液状化や擁壁被害・がけ崩れなどの地盤被害への支援強化
- 4、災害公営住宅建設の拡充
- 5、国へ支援強化を要望すること
 - ・特措法制定／支援金の拡充／一部損壊への支援を国の制度に
 - ・「農業者向経営体育成支援事業」の速やかな補助金支給 など

【控室から】
「元気で長生き」
上野 みえこ

田舎で一人暮らしをする母も八十歳になり、何かと心配することが多くなってきました。玄関を出れば、隣の方にあいさつができる街の暮らしと違い、隣は畑の向こうの、そのまた向こうというようなところです。お買い物も、バスに乗るにもずいぶん歩かなければなりません。

でも、「いつまでも健康で元気でいたいから、心がけて毎日出かけるようにしたい」と話してくれることをうれしく思います。

超高齢化の時代を迎え、「元気で長生き」というのが誰もが共通の願いです。いつまでも、そうあってほしいと、私もできることをやっていきたいと思っています。

しかし、国は高齢者をターゲットにして、社会保障制度をどんどん改悪しようとしています。年金の大幅カット、後期高齢者医療の保険料引き上げ、医療費の負担増、介護の負担増やサービスの切り捨てなど、切実な問題ばかりです。「元気で長生き」そのため、「医療・介護の負担増」は許さない、その声を大きく上げていかなければなりません。



日本共産党 市議会だより
発行：日本共産党熊本市議団
上野みえこ なすまどか 山部ひろし
熊本市中央区手取本町1-1 3階

NO. 1025
2016年12月4日
電話 328-2656
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
HP：http://www.jcp-kumamoto.com/

市政史上最大のハコモノ、桜町再開発へのMICE整備(補助金含め)450億円 大西市長、「283億3000万円」を再開発事業者へ払う議案を提出

高すぎる市の支払い、市の所有する床の代金は民間部分の2倍

MICE 施設 (仮称)「熊本城ホール」は、九州産交が主体となって実施する「桜町再開発事業 (総事業費755億円)」の床を購入し整備します。

市が提出している資料から、床の価格について検証してみると、右記の表のようになります。

MICE の床単価は、民間が所有する部分の約2倍の価格です。なぜ、こんなに高い床価格を負担しなければならないのか、大いに疑問です。

床価格について

【MICE 施設の床】

床面積	30,780 m ²
床取得代金	283.3 億円
床単価	920,403 円

【民間の所有する床】

(商業・ホテル・住宅・ターミナル等)

床面積	113,700 m ²
床取得代金	523 億円
床単価	459,982 円

(保留床取得金338億+従前資産185億)

市民へは「大ナタ」を振るい、再開発事業者へは「大盤振る舞い」

桜町再開発事業そのものへの補助金が126億円です。MICE・(仮称)「熊本城ホール」整備のための床代金・備品費が298.3億円です。また、床代金は、8割以上の約250億円を市が借金するので、その返済利息は、年利1%として、20年償還で約28億円、30年償還では40億円程になります。しかも、九州産交が母体となった再開発会社には、運転資金として総額60億円が無利子で貸し付けられる予定です。

再開発事業やMICE整備には、大盤振る舞いをしながら、市民生活は切り捨てられています。

今年度から国保の保険料が大幅に引き上げられ、高齢者の敬老祝品制度が縮小され、障がい者の無料パス券制度もなくなりました。しかも、今年度、熊本地震復旧・復興のための予算は1000億円を超えており、来年度は全庁的に、予算の15%削減が提起されており、市民サービスがますます削られます。

本格的な復興は今からというときに、なぜ超大型ハコモノのMICE・(仮称)「熊本城ホール」整備を優先してすすめなければならないのか、到底市民の理解は得られません。

【桜町再開発の施設概要】 (m²)

建物延床面積 約160,000 m²

(仮称) 熊本城ホール	30,800
商業	39,200
シネコン	4,600
ホテル(約200室)	8,100
バンケット	2,600
マンション(159戸)	16,400
バスターミナル	14,800
駐車場(約840台)	28,000
事務所	500
共用部分	15,500

桜町再開発事業の概要

【桜町再開発の資金計画】

(支出)		(収入)	
調査設計費	20 億円	市の補助金	126 億円
土地整備費	16 億円	防災まちづくり補助	8 億円
補償費	66 億円	保留床処分金	621 億円
工事費	607 億円	(保留床の内訳)	
営繕費	14 億円	熊本城ホール283億	
事務費	8 億円	九州産交他 338億	
借入金利子	3 億円		
予備費	20 億円		
支出合計	755 億円	収入金合計	755 億円

【桜町再開発・MICE への市の支出】

床の取得金	283.3 億円
再開発への補助金	126 億円
MICE 施設の備品	15 億円
市債返還利息	20~40 億円
再開発会社への貸付	60 億円